記載例

山元町教育・保育給付認定申請書兼保育施設入所申込書

令和 7年 11月 18日

山元町長 橋元 伸一 殿

7000-0000

保護者 住 所 山元町〇〇字〇〇番地

> 名 山元 太郎 氏

携帯電話(父)000-000-000

(母) 000-000-000

施設入所にあたり、必要が町民税の情報(同一世帯員を含む)及び利田老負担額を、特定教育・保育

心取ノハハベーのハこ	ソ、心安は門	TO THE TRUE	四 正田貝で占む	\mathcal{L}	可用有具具	三領で、竹足も	(月)
施設に対し提示することに同意し、次のとおり給付認定及び保育所入所申込みを申請します。							
入所希望児童	(ふり 氏) がな) 名	生年月日		性別	令和8年4月1日 現 在 の 年 齢	障害者手帳
		, .				光 任 の 平 剛	等の有無
		はな					有 無
	山元	花	│ 令 和 6 年 7 月	1 日	男(女)	1歳	
個 人 番 号	1234 ****	* ***					,
入所希望施設•	第1希望:	〇〇保育所		第2希望	望:▲▲6	呆育園	
希望する理由	□自宅職場に近	ご ✓ 兄弟等入所	□その他()	☑自宅職場	場に近い □	兄弟等入所 口その)他()
※保育施設等・幼稚園併願の場合は、保育施設名	第3希望:	□□保育園		第4希望	望:☆☆(呆育園	
願の場合は、保育地設名 のみ記入すること。	■自宅職場に近	む □兄弟等入所	□その他()	1 自宅職場	場に近い □	兄弟等入所 口その)他()
認定者番号	※既に支給認定を受けている場合に記入してください。						
	保護	保護者の就労又は疾病等により、保育所等において保育の利用を希望する場合					
保育の希望	有: 希望	望する保育必要量	★ 標準時間(最大)	11 時間)	 □短 	時間(最大8時間)
の有無	[幼稚園等と併願を含む (利用希望幼稚園名:)]						
	無 : 幼稚園等の利用を希望する場合 [保育施設等と併願を除く]						
保育希望期間	令和8年	4月 1日	から 🗹 就学前ま	で・		年 月	日まで
保育を必要と ☑就労 □出産 □疾病・障害 □介護等 □災害復旧 □就職活動 □就学							
する 理 由 □職業訓練 □虐待・DV等 □育児休業 □その他()							
・「保育の希望の有無」欄の「保育施設等」とは,保育所,認定こども園(保育部分),小規模保育,家庭的保育,居宅訪問型保育,事業所内保育をいい							
(以下同じ),「幼稚園等				_	>新0年1日	1日現在の年齢	
入所希望児童の家	庭の状況(入戸	所希望児童以外の	家族全員を記入願います	-) <u> </u>	5和8年4月 ▼	1日現住の午町	J
ふりがな		児童と	生年月日	年齢	勘致生.	学校の名称	同居·別居
氏 名		の続柄	工十月日	一一面印	到伤儿。	一大以り石が	の別
やまもと たる	35						

同居・別居 父 平成3年1月1日 35 000株式会社 山元 太郎 やまもと はなこ 入 · 別居 同居 □ 平成5年6月3日 32 〇〇保育園 山元 花子 所 やまもと たいち 児 · 別居 兄 令和2年7月29日 5 〇〇保育所 同居 山元 太一 童 やまもと いちろう \mathcal{O} 別居 祖父 昭和37年4月7日 63 〇〇農協 同居 山元 一郎 世 帯 やまもと はなよ 祖母 昭和40年3月9日 60 〇〇書店 同居 · 別居 員 山元 華代 年 月 日 同居 · 別居 ひとり親世帯等の有無 有 (□ひとり親世帯 □在宅障がい児(者)のいる世帯) 生活保護の適用の有無 適用あり(年 日 保護開始) 歯用な

※町記入欄	受付年月日	令和 年	月 日	
認定の	認定者番号	認定区分等		
可令和 年 月 日認定	否 (否とする理由)		□1号 □2-	号 □3号 □短)
支給(利用)期間	自	令和 年	月 日	
文相 (利用) 朔间	至	令和 年	月日	
入所施設名	□保育所 □こども園(□幼・□保) □幼	稚園 □その他(
備考				

※施設記入欄(施設を経	受付年月日	令和 年	月	日	
施設(事業者)名					
担当者氏名·連絡先	(担当者)		(連絡先)		
入所契約(内定)の有無	有 【契約・内定〈平成・令	和年	月 日契約	(内定)	・無
備考					

記入上の注意

「山元町教育・保育給付認定申請書兼保育施設入所申込書」は、保護者が以下の点に注意し記入の上、子育て定住推進課に提出してください。なお、ご家庭から2人以上の児童が同時に入所を申し込む場合にも、それぞれの児童ごとに1枚の用紙を用いてください。

- 1 「入所希望児童」の欄は、「氏名」にふりがなを付すとともに、「年齢」は当該年度4月1日現在の年齢で 記入してください。
- 2 「保育希望期間」には、保育を必要とする理由に該当すると見込まれる期間の範囲内で記入してください。
- 3 保育施設へ入所できる基準は次の表に掲げるような場合で、かつ、両親以外の同居している親族等が児童の保育を出来ない場合に限られます。下の表の①から⑩までに掲げるいずれの場合に該当するかを判断して、「保育を必要とする理由」の欄に記入してください。
- 4 「入所希望施設」には、保育施設名を記入してください。
- 5 「入所児童の世帯員」の欄は、同居している親族、別居中の生計を一にする親族全員について記入してください。
- 6 保育施設への入所については、以下の場合がありますので、あらかじめご承知ください。
 - ・保育施設へ入所できる基準に該当しないために入所が認められない場合
 - ・希望者が多数いるため希望する保育施設へ入所できない場合
 - ・保育施設へ入所できる基準の該当事由により保育の実施期間の希望に添えない場合

(保育施設へ入所できる基準)

保育施設へ入所できる児童は山元町に住所があって、その児童の保護者が次の①から⑩のいずれかに該当するために児童の保育が必要と認められる場合で、かつ、同居の親族(祖父母等)やその他の人が、その児童の保育をできないと認められる場合です。

- ① 就 労 保護者が家庭の内外で月に64時間以上の仕事をすることにより、その児童の保育ができない場合
- ② 出 産 保護者が出産により、その児童の保育ができない場合
- ③ 傷病・障害 保護者が病気、負傷又は心身に障害があるため、その児童の保育ができない場合
- ④ 介 護 等 親族の介護若しくは通院の付き添いなどにより、その児童の保育ができない場合又は家庭 に長期にわたる病人や、心身に障害のある人がいるため、保護者が常時その看護にあたっており、その児童の保育ができない場合
- ⑤ 災害復旧 火災、風水害や地震等により、その居や家財に損害を受けたため、復旧の間、その児童の 保育ができない場合
- ⑥ 就職活動 保護者が就職活動をすることにより、その児童の保育ができない場合
- (7) 就 学 保護者が家庭外等で就学をすることにより、その児童の保育ができない場合
- ⑧ 職業訓練 保護者が公共職業能力開発施設等で職業訓練を行うことにより、その児童の保育ができない場合
- ⑨ 虐待・DV等 虐待や DV 等の理由により、その児童の健全な成長が阻害される恐れがある場合
- ⑩ 育児休業 育児休業取得時に、既に保育所を利用している子どもがいて継続利用が必要であること (次年度に小学校入学を控えている児童は継続入所可能)
- ① その他、上記に類する状態として町が認める場合